

平成26年度予算決まる!!

平成26年第1回定例会は2月24日に開会し、3月19日まで24日間の日程で開かれました。今議会では、条例の制定5件、条例の一部改正8件、補正予算8件、新年度予算10件、人事案件7件、そのほか5件の計43議案が市長から提出されました。また、議員提出議案2件及び請願1件を審議しました。

花園アウトレット 構想 失敗は許されないから 慎重な議論を!!



議会ホームページ リニューアルしました

「賛成多数で可決」 だけど...

2 民生

保育園運営事業

問 保育士の処遇改善への金額は。 答 保育士等処遇改善臨時特別事業として県からの補助5569万1千円を見込んでいる。

問 保育士の処遇はどの程度改善されるのか。 答 月額にして職員1人あたり8100円程度、上乗せになる形で補助金が交付される。

健康マイレージ事業

問 事業内容は。 答 市民全体で健康づくりの気運を高め、市の地域資源も活用し、健康な街づくりを目指す。具体的にはポイントカードを配布し、行政等が実施する健康関連事業に参加した際ポイントを付与する。また、商店街等の協賛店での利用もポイント化していきたい。規定のポイント数を満たした方には、啓発品を渡すことで、市民が色々な健康事業に参加するための応援をする。

市民後見推進事業

問 事業内容は。 答 初期の認知症や精神障害の方が増加傾向にあり、市民後見人を養成し、将来の需要に備えていく必要がある。そのため26年度は、社会福祉協議会で市民後見センターを開設し、法人後見等実績を作りながら、後見人の養成について研修方針を検討していく。

Table with 2 columns: Item Name and Amount. 1. 市民後見推進事業 378万円, 2. 健康マイレージ事業 約335万円, 3. 保育園運営事業のうち保育士の処遇改善分 約5,569万円, 4. 幼保一体化検討事業 110万円

1 総務

産業拠点推進事業

問 産業拠点推進事業では何筆くらい測量する予定なのか。 答 約70筆程度である。

問 28ヘクタール全体で70筆なのか。 答 この用地測量は民間ゾーンとその周辺で約20ヘクタールである。

問 それぞれの見積額は。 答 個々の見積り額を公表することはできない。委託料の総額は8013万6千円。秩父鉄道への負担金は3564万円を計上している。

問 経済波及効果等調査や全体の構想などの情報公開をどの辺まで考えているか。 答 公表できることは、当然公表していく。流れとして構想から基本計画を立てる。その後実施計画を立てる。現在は構想から基本計画に移る段階であり、そのためには様々な事業経費をかけるなければ基本計画というものはできない。今後、必要

Table with 2 columns: Item Name and Amount. 1. 産業拠点推進事業 1億1,917万円, 2. 防災行政無線更新事業 約8,047万円, 3. 消防救急デジタル無線移行事業 2億3,856万円, 4. 土地保有税廃項の理由 平成25年繰越分すべて納金されたため

な情報は議会に公表していきたい。



3 教育

渋沢栄一翁顕彰事業

問 予算を拡充しているがその内容は。 答 本年6月に富岡製糸場と絹産業遺産群ということで世界遺産登録の予定で事務が進められている。登録となると関係する渋沢栄一翁の生家「中の家」や栄一記念館等へ観光客が多く来ることが予想される。そうしたことから論議の里整備活用計画を策定しており、その計画に基づく予算が増額となった。



渋沢栄一記念館

計74室に設置を予定している。

小学校施設整備維持事業

問 エアコン設置予算が。 答 特別教室（音楽室、理科室等）129室と自校式給食場（岡部小、岡部西小、花園小を除く）16室に設置を予定している。

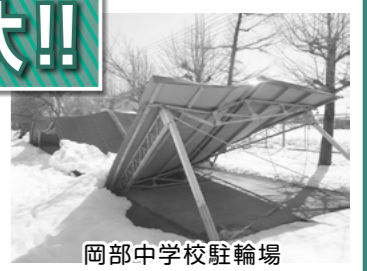
中学校施設整備維持事業

問 エアコン設置予算が。 答 特別教室（音楽室、理科室等）65室と自校式給食場（花園中除く）9室、台

Table with 2 columns: Item Name and Amount. 1. 渋沢栄一翁顕彰事業（論議の里整備活用計画等） 約4,020万円, 2. いじめ不登校対策事業 約1,601万円, 3. 天井等落下防止対策（中学校の施設大規模改修を含む） 約1,961万円, 4. ふっかちゃんi（愛）サポート事業 約380万円

観測史上1位 記録的大雪で農業被害甚大!!

- 被災された農業者へのビニールハウス解体撤去再建に係る助成など 約76億7,494万円
●降雪による道路除雪費用 6,000万円
●学校のプール日よけ解体と設置・駐輪場解体と設置の費用 約7,171万円



岡部中学校駐輪場

議会あれこれ「補正予算ってなあに?」...年度途中における災害の発生、法改正などに対応するため、当初予算額を増額または減額する予算のことです。